

記憶

張り子を用いたインスタレーション

飯塚敦

デザイン工芸コース

このインスタレーションは「変化した」という記憶である。原型は繰り返し型取られることによって変形していった。張り子の像としての残っている物はこの変形した事実の記憶である。

顔面像のモチーフはかつての私の友人である。彼とはある時疎遠になった。大変親しい友人でまるで自分の一部のようなため、はじめはひどい喪失感を感じていた。その喪失感から制作を始めたのがこの作品である。しかし時間が経つと彼への執着は無くなって行った。それと共に作品の持つ意味も変化した。はじめは「彼の葬式」という限定的な意味をなしていたが、次第に「記憶」や「変化」といった意味が変わっていった。繰り返し同じ作業を繰り返すことで張り子の技術も上がった。

私たちの周りにある様々な「変化」を反映した作品として鑑賞者に映ると幸いだ。



インスタレーション／楮紙・でんぶん糊／h150×w2870×d4510mm

輝きを疑って

池田好花

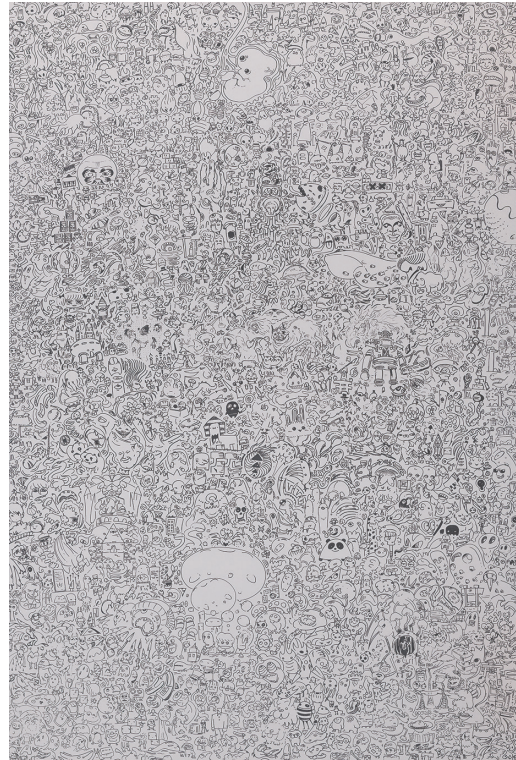
造形芸術コース



絵画／アクリル絵具、キャンバス／h1818×w2273mm

「描く喜び」

中島新
造形芸術コース



平面造形／パネル張り、ハイマッキー／h1940×w1303mm

開花

民秋彩乃

デザイン工芸コース



塑像／ミクストメディア／石膏、コンクリート、プラ板、針金、ビーズ、鉄／h535×w210×d260mm

追憶

三浦栄一郎

デザイン工芸コース



立体造形／石膏、塑造／h2065×w308×d255mm

存在の痕跡・「旅」

張文濤

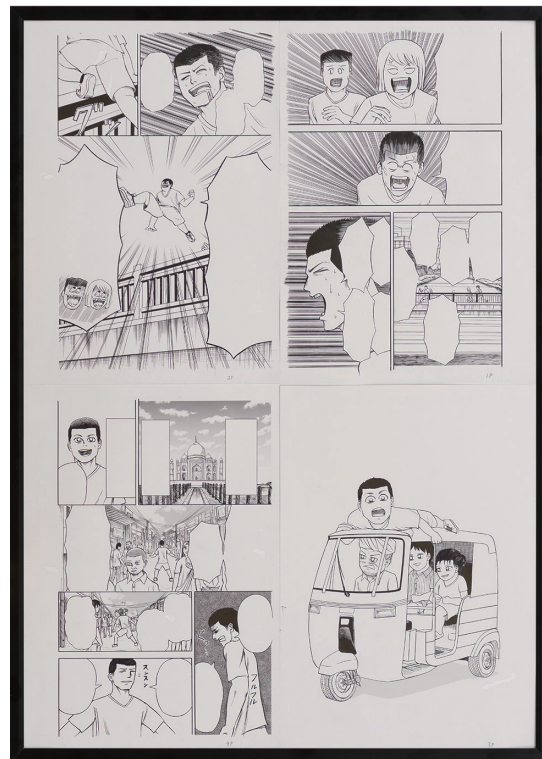
芸術文化科学研究科



インスタレーション／ダンボール、木箱など／h1100×w3000×d3000mm

ハンドルをやや右に

土井翔平
造形芸術コース



漫画／原稿用紙、インク、トーン／B4版、pp.48

Mindarium

森田結香

造形芸術コース

現実には重く苦しく押し掛かる。
希望という名の灯はあまりに眩しくて、
手を伸ばすことすら叶わない。
それでもこの世から逃げることは許され
ない。
だから、心の中に作り上げた最後の
砦に籠ろう。
この世から逃げ出さないように、現実
から逃げてしまおう。



立体造形／3Dスキャン、3Dモデリング、3Dプリント／h1550×w550×d550mm

思い描く -Trace-

3D造形物による光と陰の描写表現について

若林有那

デザイン情報コース

『記憶』

写真に写すほどでもない何でもない
思い出や、無意識のうちに何気なく
頭に残っている記憶

もう鮮明に思い出すことはできないけ
れど確か誰かと一緒にそこに居たと
いう思い出

そのおぼろげな記憶状態を3Dという
新しいツールで形にした。



立体造形／3Dモデリング・編集ソフト-Zbrush 3Dスキャン-Artec 3Dスキャナー Eva 3Dプリント-積層造形